

日本疫学会プレセミナー 2026

持続可能なUHCと公平な制度設計を 考える上で疫学者が知っておきたい リアルワールドデータ活用法



2026.1.28(水) 15:30~17:30

初級レベル

参加費：一般4,000円 学生1,000円

開催形式：現地 および 後日オンデマンド配信（リアルタイム配信なし）

●非会員の方もご参加いただけます。●プレセミナーのみの参加も可能です●終了後一定期間オンデマンド配信をします。後日別のセミナーの視聴を希望する方は、複数のセミナーをお申込みいただけます。参加費は、それぞれ別にお支払いください。●参加申込者には、後日学術総会事務局より参加方法をお知らせします。●参加者は、後日マイページより領収書と参加証(疫学専門家申請の際の参加回数にカウント可能)をダウンロードいただけます。●疫学専門家申請 にかかわるポイントに計上できる学術総会に付随するセミナーは、一件のみとなりますのでご注意ください。

概要

本セミナーは、日本疫学会員および関連学会の研究者や患者・市民の方と持続可能なユニバーサルヘルスカバレッジと公平性に関する課題を共有するために必要なデータ分析を進める上で、現状の日本で活用可能な「リアルワールドデータ」にはどのようなものがあり、その活用法などを紹介し、今後の研究の方向性について議論を行います。

セミナー目的

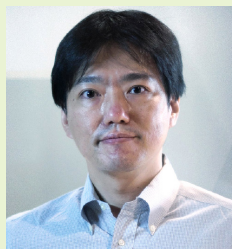
日本の医療制度が直面する財政的・社会的課題に対し、疫学とデータサイエンスの手法を活用してデータ分析を行い、持続可能なUHCを守るための研究と議論を進めるため、疫学研究推進グループ「持続可能なUHCと公平な制度設計に寄与するデータサイエンス研究グループ」を発足しました。そこで、日本疫学会員および関連学会の研究者や患者・市民の方と課題共有するために必要なデータ分析を進める上で、現状の日本で活用可能な「リアルワールドデータ」に関するセミナーを開催します。

- 私たちが利用可能なデータベースにはどんなものがあるのか？
 - 誰がどのように申請して使えるの？
 - それぞれのデータベースのメリット・デメリットは？
 - 持続可能なUHCと公平な制度設計を考えるために、どのような研究アウトプットできるのか？またどのような研究が必要なのか？
- の課題について、疫学初学者や疫学分野以外の共同研究者、関係者と共有する学びの場としたいと思います。



第36回日本疫学会学術総会の参加登録ページにてご登録ください。
左記QRコードからアクセスできます。

座長



後藤 温
横浜市立大学医学部 公衆衛生学
主任教授



伊藤 ゆり
大阪医科薬科大学医学部 医療統計学
特務教授

講師と セミナー 内容

リアルワールドデータ 活用ガイド：総論



清水 沙友里
横浜市立大学大学院データサイエンス研究科ヘルスデータ
サイエンス専攻／医学部臨床疫学・臨床薬理学教室・講師

公的統計調査票情報を利用した 疫学研究の現状と展望



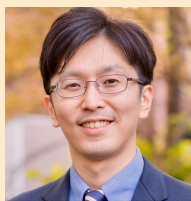
田中 宏和
国立がん研究センターがん対策研究所・
データサイエンス研究部・室長

全国がん登録 利用申請の実際： 知っておくと助かる実務 Tips



花房 真理子
国立がん研究センターがん対策研究所・
コホート研究部・研究員

レセプト・DPC・公的統計を用いた 医療政策研究の実例



宮脇 敦士
筑波大学医学医療系
社会医学研究グループ 准教授

商用レセプトデータベースを活用した 高額療養費制度に関する研究



五十嵐 中
東京大学大学院薬学系研究科医療政策・
公衆衛生学・特任准教授

静岡国保データベース(SKDB)の 構築と自治体での活用



佐藤 洋子
静岡社会健康医学大学院大学・
講師

指定発言



桜井 なおみ
全国がん患者団体連合会

総合討論

総論で、どのようなデータベースをどのような研究に適用できるのかを学び、各データベースの活用法を申請方法や事例を踏まえて解説します。最後に、今後持続可能なUHCと公平な制度設計に関してどのようにデータ活用した研究が必要かを関係者と議論します。

達成目標

持続可能なUHCと公平な制度設計に寄与する研究を行う上で、各研究者の実施したいリサーチクエスションに応じたデータベースを正しく選択し、その利点・欠点を理解した活用ができるようになります。

【主催】

日本疫学会の疫学研究推進グループ
「持続可能なUHCと公平な制度設計に
寄与するデータサイエンス研究グループ」